

人権教育

1. 目標

身近な問題に気づき、互いに人権を尊重しながら仲良く支え合う集団を育てる。

2. 努力点

- ・子供一人ひとりの個性を大切にし、お互いの悩みや願いがわかり、仲良く支え合う子供を育てる。
- ・身近な問題の中から、人権に関する問題を見つけ、適切な指導をはかる。
- ・人権について正しく理解させるための教材の研究につとめ実践をはかる。
- ・いじめをなくすための取り組みをする。

3. 学年別具体目標

- 1年 集団生活に慣れ、だれとでも仲良くできる子供。
- 2年 友だちの気持ちを考え、仲良くできる子供。
- 3年 友だちの気持ちや立場を大切にし、やさしくできる子供。
- 4年 相手の気持ちを考え、力を合わせて問題を解決していこうとする子供。
- 5年 相手の立場を理解し、身のまわりの問題をとらえ、協力して解決していこうとする子供。
- 6年 自他の人格を尊重しながら、協力して生活の中における問題を追及し、解決していこうとする子供。

4. 取り組み

- (1) 生活指導面から
 - ・基本的生活習慣を身につけさせる。
 - ・良いところを認め合える集団にする。
- (2) 道徳教育面から
 - ・命を大切にし、自ら判断して行動する子供を育てる。
 - ・相手の立場を尊重しながら協力し合う子供を育てる。
- (3) 特別活動面から
 - ・学級で起きた問題について話し合い、解決しようとする子供を育てる。
- (4) 教科等学習の面から
 - ・基礎学力の充実をはかる。
 - ・学習の中でお互いに教え合い、励まし合う仲間をつくる。
 - ・副読本を活用する。
 - ・文学作品によって豊かな人間の生き方を学ばせる。
 - ・社会科学習の中で、社会について正しい見方、考え方の基礎を身につけさせる。特に人権にかかわる教材については、生活を守り高めたいという人々の願いをわからせる。
 - ・人権学習については、6年生の歴史学習をすすめる中で扱う。
- (5) その他
 - ・同和問題をはじめ、様々な人権問題についての研修に努める。
 - ・職員会議等で児童の様子について話し合い共通理解を行う。

5. 年間指導計画

	1 学期	2 学期	3 学期
1 年 生	(生) がっこうだいすき あいうえお (道) うまれたてのいのち もりのぷれげんと	(国) かいがら (道) かずやくんのなみだ わたしがおねえさんよ はしのうえのおおかみ	(国) スイミー (生) ひろがれえがお (道) あなたってどんな人？ 花のかんむり
2 年 生	(国) かさこじぞう (道) およげないりすさん 三びきは友だち ありがとうって 言われたよ	(国) ニャーゴ (道) いいところ みいつけた やくそく くりのみ	(国) ないた赤おに (生) これまでのわたし これからのわたし (道) ぐみの木と小鳥 ある日のくつばこで 七つの星
3 年 生	(国) はりねずみと金貨 (道) おじいちゃんとの楽しみ きいてるかいオルタ さと子の落とし物 同じ小学校でも	(国) サーカスのライオン (道) みんなのわき水 お母さんの「ふふふ」 お父さんからの手紙 (社) 安全なくらしを守る	(国) モチモチの木 (道) 助かった命 たつきゅうは四人まで (社) 市のようにすくらしの うつりかわり
4 年 生	(国) 走れ (道) いのりの手 (社・総) 住みよいくらしをつくる	(国) 一つの花 (道) 花さき山 (総) とともに生きる 福祉施設の訪問 高齢者体験	(国) ごんぎつね (道) 心と心のあくしゅ (特) 6年生を送る会
5 年 生	(国) だいじょうぶ だいじょうぶ (理) ヒトのたんじょう (道) のび太に学ぼう 命 (保) 心の健康 (特) 川上村交流合宿	(国) 大造じいさんとガン (社) 工業生産とわたしたちの くらし (道) 古いバケツ 名前のない手紙 住みよいマンション (外) いろいろな文化を学ぼう	(国) 「弱いロボット」 だからできること (社) 国土の環境を守る (道) すれちがい 本当の自由 めぐみ (特) 6年生を祝う会
6 年 生	(社) 憲法と政治のしくみ わたしたちの願と政治 のはたらき (道) 自分は自分 会話のゆくえ どれい解放の父 リンカーン	(国) ヒロシマのうた (社) 今に伝わる室町文化 豊臣秀吉の天下統一 (道) どんな心が見えますか その思いを受けついで ある日、町の中で	(社) 新しい政府による政治 よりよく生きる権利を 求めて (道) ラグビー日本代表の かがやき 行為の意味 お別れ会